

実態把握・推進体制の整備

③

青色の見出しの事業の予算合計額: 37,800千円

食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の開催(農産食品課)

予算額: 1,590千円(一般財源(補助対象経費(1/2)+補助対象外経費): 1,469千円、地域の魅力再発見食育推進事業費補助金(補助対象経費(1/2)): 121千円(予定)
開催回数: 2回(4~5月頃、11月頃の開催を予定)
協議内容: 検討会における議論や食品ロス・食品廃棄物実態把握調査の結果を踏まえて、食品ロス・食品廃棄物の削減の推進に向けた具体的な取組みの実態等について協議

食品ロス・食品廃棄物削減PR用Webサイトの開設(農産食品課)

予算額: 1,155千円(地方消費者行政推進交付金)
目的: 県内食品ロス・食品廃棄物に関する情報を一元的に集約し、県民や事業者に向けて情報を発信することで、食品ロス・食品廃棄物の削減に関する意識を啓発する。
掲載内容: 富山県食品ロス・食品廃棄物の実態、県民会議の議事録、削減に向けた取組み紹介、イベント情報等

食品ロス・食品廃棄物削減に関するシンポジウムの開催(農産食品課)

④

予算額: 1,180千円(一般財源(補助対象経費(1/2)+補助対象外経費): 857千円、地域の魅力再発見食育推進事業費補助金(補助対象経費(1/2)): 323千円(予定)
開催回数: 1回(富山会場9月開催)
内容: 一般県民を対象とした食品ロス・食品廃棄物をテーマとした外部講師による講演等を実施

家庭系食品ロス・食品廃棄物の組成調査(環境政策課)

予算額: 8,500千円(地方消費者行政推進交付金)の一部
内容: 焼却施設に搬入される家庭ごみの内訳や重量などの組成を調査(季節変動などを把握するため28年度から継続)
地域: 富山地区広域圏の焼却施設
時期: 春夏に2回

食品ロスの発生抑制

全県的な食品ロス等削減運動の展開(農産食品課)

予算額: 2,475千円(地方消費者行政推進交付金)

①

食品ロス等削減運動の愛称・標語の募集(480千円)

目的: 運動の愛称・標語を考える過程で食品ロス等の削減に対する意識啓発を行う。
対象: 一般県民

②

食品ロス等削減運動協力宣言事業者の募集・登録(355千円)

対象: 富山県内の農水産物の生産者及び食品関連事業者(製造、流通(卸売・小売・外食)) 約1,000事業者を想定
食品ロス等削減運動協力店の条件: 食品ロス等の削減の取組みを1項目以上実践している店舗

⑥

消費・賞味期限の近接する商品の優先購入促進のためのポスターPOPの作成(1,640千円)

目的: 消費・賞味期限が迫った商品から優先的に購入してもらえるよう消費者に働きかけるポスターやPOPを作成し、期限切れで廃棄される商品の削減につなげる。
実施方法: 食品ロス等削減運動協力宣言事業者等県内の小売店の店頭において、ポスター、POP等のPR媒体を掲示

食の健康づくり推進事業(健康課)

予算額: 12,000千円(一般財源)

内容: 減塩、野菜メニュー、シニアメニューなどを提供する飲食店「健康寿命日本一応援店」の募集、登録

食品ロス・食品廃棄物の削減のPR(生活衛生課)

予算額: 500千円(一般財源)

内容: 食品衛生大会において、食品ロス・食品廃棄物削減の取組みをパネル等で紹介し普及啓発を図る。
対象: 食品事業者、一般県民

食品ロス削減のための衛生管理手法の導入支援(生活衛生課)

予算額: 1,500千円(一般財源)

内容: 食品を取扱う中小事業者に対し、説明会や個別相談を行い、HACCPによる衛生管理手法の導入を支援する。

家庭内食材ロス削減実践事業(農林水産企画課)

⑦

予算額: 1,500千円(地方消費者行政推進交付金)

内容: 冷蔵庫内の食材管理表や旬の食材を無駄なく使い切る工夫を記載した実践シートを作成し、地域の食育講座等で活用・普及を図る。

食品ロス削減理解促進事業(県民生活課)

⑩

予算額: 500千円(地方消費者行政推進交付金)

内容: 消費者団体、消費者グループの活動や消費生活前講座などにおける、食品ロス削減のための知識の普及啓発(啓発グッズ作成)
対象: 消費生活グループ(22グループ、約100人)、講座受講見込 約1,700人

啓発チラシ・パンフレット・ポスターの作成・配布(環境政策課)

⑪

予算額: 8,500千円(地方消費者行政推進交付金)の一部

目的: 家庭での食品ロス等の実態や効果的な取組み内容を幅広く周知するため、組成調査及びアンケート調査の結果を踏まえた統一的な啓発チラシ・パンフレット・ポスターを作成・配布
作成部数: チラシ 50万部、パンフレット 3,000部、ポスター 3,000部
配布先: チラシ 自治体回覧板、環境・消費者団体、環境イベントなど ポスター エコ・ストア、消費者団体、市町村等

食品ロス削減のアイデア募集、情報発信(環境政策課)

⑤

予算額: 8,500千円(地方消費者行政推進交付金)の一部

内容: 家庭での食品ロス削減を推進するため、気軽に取り組める食品ロス削減のアイデアを幅広く募集し、環境イベントで表彰。また、買い物・調理・外食での取組事例をSNS等を通じて情報発信。

食品ロス・食品廃棄物削減モデル活動支援事業(農産食品課)

⑧

予算額: 1,500千円(一般財源)

内容: 食品ロス・食品廃棄物の削減に向けたモデル活動の企画を募集し、支援することで、消費者の食品ロス・食品廃棄物の削減に対する意識を啓発する。
実施主体: 食品ロス・食品廃棄物の削減に積極的に取り組む団体・企業(15団体・企業) 補助率: 10/10(上限100千円)
対象事業: 食品ロス・食品廃棄物の削減につながる3R(リデュース、リユース、リサイクル)の活動を公募

リユース

サルベージ・パーティのモデル開催(環境政策課)

⑨

予算額: 8,500千円(地方消費者行政推進交付金)の一部

内容: 楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で食品ロスになりそうな食材(食べきれない食材、賞味期限が近い食材など)を利用し、おいしい料理に変身させる「サルベージ・パーティ」を県内でモデル的に開催

回数: 5回程度

場所: 環境イベント、関係団体の集会など

リサイクル

「とやまのエコフィード」利用推進支援事業(農業技術課)

⑫

予算額: 5,400千円(一般財源)

目的: 食品残さ等をエコフィードに有効活用し、本県の飼料自給率向上を図る

内容: ①エコフィード需給マッチング推進事業
・食品製造業者等から発生する食品残さの発生量等の調査結果を基に、家畜飼料としての利用可能な残さの種類や量等を整理
・畜産農家の利用意向調査を実施し、需給調整(マッチング)を図る
・「とやまエコフィード利用推進協議会」(仮称)により利用拡大を推進

②エコフィード利用体制整備事業
畜産農家等が食品残さ等をエコフィードとして利用する場合に必要な保管施設等の整備に対し支援等

(継) 農業生産資材推進事業(肥料流通指導)(農業技術課)

・肥料生産及び販売業者からの登録・届出の対応
・肥料生産及び販売業者への立入検査、肥料分析

(継) 中小企業環境施設整備資金(環境政策課)

内容: 廃棄物の資源化及び再生利用のために必要な施設整備等に対する融資
(限度額: 3,000万円【個別】、5,000万円【団体】、融資利率: 年1.70%以内)

(継) 産学官連携推進事業(商工企画課)

内容: 環境・エネルギー分野の研究開発に対する支援
(限度額: 200万円、500万円)

(継) 再生エネルギー利用促進資金(経営支援課)

内容: 再生可能エネルギーを利用した発電設備の導入に対する融資
(限度額: 1億円、融資利率: 年1.15%以内等)

主な平成29年度食品ロス・食品廃棄物削減対策のスケジュール(案)

分類	事業	平成29年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
削減推進体制の整備	・食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議		第1回会議 (5/8)						第2回会議 (10/2)				
	・食品ロス・食品廃棄物削減に関するシンポジウム							シンポジウム (9/16)					
	・食品ロス・食品廃棄物削減WEBサイト開設				製作			開設 (9/16)					
実態把握	・家庭系食品ロス・食品廃棄物実態調査(組成調査)			第4回調査(春)			第5回調査(夏)	結果とりまとめ	公表 (10/2)				
発生抑制 リユース	・全県的な食品ロス等削減運動の展開	運動愛称・標語の募集		作品募集		審査		表彰式 (9/16)					
		協力店の募集		募集・登録				第1回登録 状況発表 (9/16)	随時募集・登録・認定ステッカー交付				
		優先購入キャンペーンの実施					キャラクター制作・ポスター印刷		キャンペーンの実施				
	・啓発チラシ・ポスターの作成・配布		記載情報の収集・検討、印刷						配布				
	・啓発パンフレットの作成・配布		記載情報の収集・検討、印刷						配布				
	・食品ロス削減のための衛生管理手法の導入支援							HACCP導入講習会及び 個別相談会の開催	導入指導(随時)				
	・家庭内食材ロス削減実践事業					作成		印刷・配布					
	・食品ロス削減のアイデア募集・情報発信					アイデア公募	審査	表彰(環境フェア)	情報発信・月2回以上(食品ロス等の問題に関する周知・啓発)				
	・食品ロス削減のアイデア募集・情報発信					情報発信・月2回以上(優秀アイデア等)							
	・食品ロス・食品廃棄物削減モデル活動支援事業			募集		募集		支援対象の決定	事業の実施				
・サルベージ・パーティのモデル開催		開催案内チラシ作成・周知					5回程度開催	結果レポート作成、HP掲載					
・食品ロス削減理解促進事業					グッズ・記載情報の検討、製作			配布開始(各種イベントや講座等)					
リサイクル	・「とやまのエコフィード」利用推進支援事業		食品廃棄物の飼料利用の検討 施設・機械導入要望取りまとめ					食品廃棄事業者と畜産農家とのマッチング 施設・機械整備事業の実施					

①食品ロス等削減運動の愛称・標語の募集・決定

【愛称】 とやま食ロスゼロ作戦

【標語】 使いきり 食べきり すっきり エコライフ

<目的>

県民に食品ロス等の削減に関心を持ってもらい、県民総参加で盛り上げていくため、運動の愛称・標語を募集する。

<募集期間>平成29年6月1日～6月30日

<応募件数>愛称 845点、標語 994点 合計 1,839点

<表彰の種類>

- ①最優秀賞 愛称部門・標語部門 各1名 賞状・副賞
- ②優秀賞 愛称部門・標語部門 各3名 賞状・副賞
- ③佳作 愛称部門・標語部門 各10名 賞状

<活用方法>今後、最優秀賞の愛称及び標語を活用し、運動を展開。
チラシ、ポスター、食品ロス等協力宣言事業者認定ステッカー等に使用



②食品ロス等削減運動協力宣言事業者の募集・登録

<目的>

食品ロス等を削減するため、食品ロス等の削減に取り組む農水産物の生産者及び食品関連事業者等を「食品ロス等削減運動協力宣言事業者」として登録するとともに、その取り組みを広く紹介することで、食品ロス等削減に対する意識を高め、機運を醸成する。

<対象>富山県内の農林水産物の生産者及び食品関連事業者(製造、流通(卸売・小売・外食))

<登録要件>次に示す食品ロス等の削減の取り組みを1項目以上実践する事業者

<登録状況>124件(平成29年10月1日現在)

規格外品の活用	完食の推奨	啓発活動	完売の促進
加工品等への利用	宴会での30・10運動実施の呼びかけ	ポスター、店内放送等による啓発	閉店間際・期間間近商品の割引販売
フードバンク活動への協力	提供量の調整	協力宣言店である旨の周知	需要予測精度の向上
安価で販売	特典付与	食材使いきりレシピ等の紹介	リサイクル

<スケジュール> 通年募集:平成29年6月～

<協力事業者の紹介>登録した協力事業者の取り組み内容等を、ホームページ等に掲載し紹介、認定ステッカーを配付

③食品ロス等削減に関するwebサイトの開設

<目的>

県内の食品ロス・食品廃棄物に関する情報を一元的に集約し、消費者や事業者に向けて情報を発信することで、食品ロス等の削減に関する意識を啓発する。

<掲載内容>

- ・食品ロスとは?、食品ロスの発生状況
- ・食品ロスの理解度診断チェックシート
- ・消費期限・賞味期限の違いについて
- ・食品ロス削減のために家庭でできる取組み
- ・食品ロス等削減の先進的な取組み事例の紹介
- ・食品ロス等削減運動協力宣言事業者の募集・紹介、認定ステッカー掲載
- ・食品ロス等削減関連のイベント(シンポジウム等)の告知
- ・エコレシピや食品ロス削減アイデアの募集・紹介 等



<開設日>平成29年9月16日(土)

④「食品ロス・食品廃棄物削減シンポジウムinとやま」の開催

<目的>

一般県民等を対象として、食品ロス・食品廃棄物をテーマとした外部講師による講演等を行い、県民が食品ロス等の削減について考える機会を創出し、意識啓発を行う。

<開催日・参加人数>9月16日(土)10:00～12:00 約180名

<内容>

- ①食品ロス等削減運動の愛称・標語の入賞作品の表彰式
- ②食品ロス等削減運動協力宣言事業者の登録状況発表
- ③基調講演(講師 牛久保 明邦 氏(東京農業大学名誉教授))
- ④パネルディスカッション



パネルディスカッションの様子 (H29.9.16)

- パネリスト: 宮永 央 氏(ユニー(株)営業統括本部 北陸営業部チーフマネージャー)
小泉 謙二 氏(富山県生活協同組合連合会会長)
尾畑 納子 氏(富山県消費者協会会長)
鈴木 健太 氏(農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課 課長補佐)

<参加者アンケート結果の概要>

- ・内容の満足度としては、「大変良かった」「良かった」と回答した人が83%を占めた。
- ・「今後削減に向け意識していくきっかけとなった。」「一人ひとりができることから取り組むことが重要だ。これからできることから取り組んでいきたい。」などの意見があり、食品ロス問題に対する理解を深めていただいた。

⑤食品ロス削減のアイデア募集・情報発信

<目的>

家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、家族ぐるみで気軽に取り組める食品ロス削減のアイデアを幅広く募集し、優良事例を表彰するとともに、取組事例などを定期的に情報発信する。

<アイデア募集>

- ・チラシ及び県ホームページで周知し、県民会議の構成団体等に案内
- ・8月～9月:アイデア募集、9月:審査会、10月:表彰(とやま環境フェア)

<応募総数>829名

<情報発信>

- ・SNS等で 買い物・調理・外食時での有効な取組事例や季節に応じた事例を紹介
- ・8月～10月:アイデア例の紹介、11月～3月:優良事例の紹介



食品ロス等削減運動を支える県の主な施策の進捗状況②

⑥消費・賞味期限の近接する商品の優先購入キャンペーン

<目的>

消費・賞味期限が近接している商品から優先的に購入してもらえるように消費者に啓発を行い、期限切れで廃棄される商品の削減につなげる。

<キャンペーンの概要>

消費・賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に広く周知し、理解促進を図るため、ポスター、POP等PR媒体を掲示する。

(1)実施期間 平成29年11月1日(水)～平成30年3月31日(土)(予定)

(2)実施店舗(協力店) 食品ロス等削減運動協力宣言事業者等県内の小売店

(3)事業の流れ

- ① PR媒体を作成、協力店へ配布(県)
- ② PR媒体の掲示(協力店)

[PR媒体] ポスター、POP等

食品ロスや消費期限・賞味期限の違いについて周知。

商品を手前から取ることを啓発。

県や事業者が食品ロス削減に協力して取り組んでいることを消費者に周知。

レジ前や商品棚等に掲示できるような大きさ。



⑦家庭内食材ロス削減実践事業

<目的>

県では、従来から食育推進の一環として、農林漁業体験や調理体験、生産者との交流などの活動を支援し、食に対する感謝の気持ちの醸成に取り組んできており、さらに、家庭内において旬の食材を上手に使い切る工夫を推進し、食品ロス・食品廃棄物の削減につなげる。

<事業の概要>

冷蔵庫内の食材管理表や旬の食材を無駄なく使い切る工夫を記載した実践シートを作成し、食育や消費者関係団体等の講習会やイベント等で配布し、活用を推進する。

<実践シートの概要>

記載内容:冷蔵庫内の食材について、購入日や賞味期限等を確認できる食材管理
チェック表 ※記載内容や規格について関係機関で検討

規格:A4版・両面(予定)

作成部数:10,000部程度

配布時期:10月(予定)



⑧食品ロス等削減モデル活動につながる取り組みへの支援

<目的>

食品ロス・食品廃棄物の削減に向けたモデル活動の企画を募集し、支援することで、事業者・消費者の食品ロス等削減に対する意識を啓発する。

<対象事業>食品ロス等の削減につながる3R(リデュース、リユース、リサイクル)の活動、啓発活動

<募集対象者>食品ロス・食品廃棄物の削減に積極的に取り組む団体・企業等

<支援内容>1事業につき10万円を限度に補助(補助率10/10)

<採択件数>15件程度 →1件採択(平成29年9月末現在)

※補助事業をさらに活用してもらうため、関連団体と協議中

<スケジュール>募集:6月、8月、10月～追加募集 事業の実施:7月～3月

⑨サルベージ・パーティの開催

<目的>

賞味期限切れなど食材の無駄をなくすとともに、楽しみながら食品ロス削減に取り組む機会を提供するため、家庭で食品ロスになりそうな食材(缶詰、乾物など)を持ち寄り、シェフが新たな調理法をコーチングする「サルベージ・パーティ」を普及させるためのモデル事業を行う。

<開催時期、場所> 5回程度開催予定、環境イベント・関係団体の集会等

<開催実績等>

第1回:6/24 サンフォルテフェスティバル(参加者:35名)

第2回:10/21(予定) とやま環境フェア2017(定員:30名)

第3～5回:

11～12月 企業、小中学校、料理教室等で開催予定



サンフォルテフェスティバルで開催(H29.6.24)



サルベージ(救助)・パーティのイメージ

⑩食品ロス削減理解促進事業

<目的>

現在実施している、①「富山県くらしのアドバイザー」による消費生活に関する講座(くらしの相談会)や、②「消費生活研究グループ」の自主的な活動に「食品ロス削減」をテーマに取り上げ、普及啓発を進めるため、啓発物品を作製。普及啓発にあたっては、県消費者協会と連携を図る。

<事業内容>メッセージ入り冷蔵庫用マグネットの作成(3,000個) ※現在作製中

<配布先>消費生活出前講座、消費生活研究グループ、各種出前講座・イベント



完成イメージ

⑪啓発チラシ・パンフレット・ポスターの作成・配布

<目的>

家庭での食品ロス等の実態や効果的な取り組み内容を幅広く周知するため、組成調査及びアンケート調査の結果を踏まえた統一的な啓発チラシ・パンフレット・ポスターを作成・配布する。

<作成部数>チラシ50万部、パンフレット3,000部、ポスター3,000部

<配布先(予定)>チラシ:新聞折り込み、環境・消費者団体、環境イベント 等

ポスター:エコ・ストア、消費者団体、市町村 等

<スケジュール>10月～12月配布

⑫「とやまのエコフィード」利用推進支援事業

<目的>

食品残さ等をエコフィードとして有効利用することにより、畜産における飼料自給率の向上が図られることから、エコフィードの生産・利用の推進に向けた取り組みに支援するとともに、地域内未利用資源の有効活用を推進する。

<事業内容>

(1)エコフィード需給マッチング推進事業

①食品廃棄事業者と畜産農家との需給マッチングを図る。

②「とやまのエコフィード利用推進協議会」の設置により利用拡大を推進する。

→エコフィード発生状況調査(食品製造業者約200社)、ニーズ量調査(畜産農家約130戸)を実施中。今後、結果をとりまとめ、マッチング活動等を実施予定。

(2)エコフィード利用体制整備事業

畜産農家等が食品残さ等をエコフィードとして利用する場合に必要な保管施設等の整備を支援

補助率:1/3以内(市町村1/6以内)

事業実施主体:畜産農家、農協等(市町村経由)

事業実施期間:平成29～31年度(3カ年)

→養豚農家一戸に対し、保冷库等の施設整備支援(平成29年9月末現在)



食品ロス等削減運動のシンボルマークの決定

とやま
食ロスゼロ作戦

すっきりんごちゃん

かわいりんごの「すっきりんごちゃん」。

赤いずきんが「ゼロ」になっており、食ロスゼロをまあい笑顔で呼びかけます。

顔のデザインが基本形。全身を描いたバリエーションもあり。

1 特徴

- ・愛称「富山食ロスゼロ作戦」の「ゼロ」をりんごの赤いずきんで表現
- ・標語の「すっきり」と「りんご」をかけている。

2 活用方法

- ・食品ロス等削減運動をPRするため、啓発チラシ、ポスター、マグネット等啓発用グッズ等に広く活用。
- ・デザインガイドを作成し、県内の企業・団体等が幅広く活用できるものとする。



愛称 「富山食ロスゼロ作戦」
標語 「使いきり 食べきり すっきり エコライフ」